

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 12 日

秋田県知事 殿

提出者 東洋・本間特定建設工事
共同企業体（代表者）住 所 宮城県仙台市青葉区中央2-9-27
プライムスクエアビル7F氏 名 東洋建設株式会社 東北支店
支店長 藤原 俊介

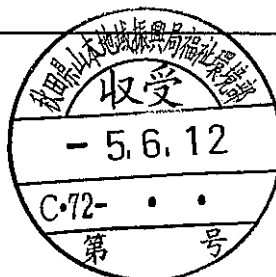
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 022-222-2281

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋建設株式会社 東北支店
事業場の所在地	宮城県仙台市青葉区中央2-9-27 プライムスクエアビル7F
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	令和4年度 完成工事高 東北支店 103億円
③ 従業員数	令和4年4月1日現在 東北支店 78人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート殻 → 中間処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 廃プラスチック → 中間処理業者に委託し、再生プラスチック材や燃料等として再資源化 木くず → 中間処理業者に委託し、チップとして再資源化 紙くず → 中間処理業者に委託し、古紙して再資源化 がれき類 → 中間処理業者に委託し、再生砕石、破碎等として再資源化 混合廃棄物 → 中間処理業者に委託し、分別、適正処分

（日本工業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(1) 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙(2)のとおり	
	排出量	別紙(2)のとおり	
	(これまでに実施した取組) 建設業は、受注産業であり抑制を際立て計画できるものではないので、特別な手段は講じていない。正確な数量把握により余剰材を削減し、排出量を減らす。		
②計画	【目標】 下記のとおり		
	産業廃棄物の種類	別紙(2)のとおり	
	排出量	別紙(2)のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 同上の為、計画は難しい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工事種類、現場保管場所を検討して分別BOX、場所を設定する。 (コンクリート殻、廃プラ、木くず、紙くず、がれき類)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・昨年と同様に実施し、分別化を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙(2)		
	産業廃棄物の種類	別紙(2)のとおり	
	全処理委託量	別紙(2)のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・処理施設の適正確認後、委託契約を実施。 ・電子マニフェスト導入への対応業者選定の推進。 ・リサイクル率の高い処理施設の選定。		

②計画	【目標】 別紙(2)		
	産業廃棄物の種類	別紙(2)のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙(2)のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取り組みに加えて適正処理施設確認及び優良業者選定を推進する。 ・電子マニフェスト導入の推進。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

環境管理組織表

(総括管理)

土木・建築部長または工事部長

【建設副産物総括管理者】
土木部長

【建設副産物総括管理者】としての職務

- 1 建設副産物適正処理に関する基本方針の作成
- 2 廃棄物処理に関する届出、報告書の確認と自治体への提出
- 3 再生資源及び廃棄物処理業者の調整(選定、契約含む)、確認
- 4 再生資源の有効利用及び副産物の適正処理に関する指導及び監督
- 5 工事現場への資料提供、助言及び指導
- 6 再生資源の有効利用及び副産物の適正処理に関する実績の把握と記録の保存
- 7 その他、必要な事項。

(作業所管理)

作業所長

【建設副産物処理責任者】
現場代理人(作業所長)
(代理者)
工事主任(作業所主任)

【建設副産物処理責任者】としての職務

- 1 再生資源利用計画書及び再生資源利用計画書の作成並びに建設廃棄物処理計画書の作成。
- 2 再生資源及び建設廃棄物処理業者の選定、委託契約、指導監督。
- 3 建設廃棄物適正処理に関する、協力業者への指導、監督。
- 4 建設廃棄物適正処理状況の確認。(マニフェスト伝票等による管理)
- 5 委託契約履行の確認。
- 6 処理実績の報告及び記録の保存。
- 7 その他、再生資源の有効利用及び建設廃棄物の適正処理に関する必要な事項。

有資格者

特別管理産業廃棄物 管理責任者
(適時選任)

※該当がある場合

(建設副産物処理)

再生資源利用計画、再生資源利用促進計画 建設廃棄物処理計画書の作成	
(担当)	作業所長
適正処理の確認(マニフェスト伝票等の管理)	
(担当)	工事主任
処理実績の報告・記録の保存	
(担当)	工事担当
廃棄物の保管	
(担当)	工事担当
事務所の事業系廃棄物の処理	
(担当)	工事担当

(環境計測)

環境計測 項目	
(担当)	
環境計測 項目	
(担当)	
環境計測 項目	
(担当)	
環境計測 項目	
(担当)	

※騒音・振動や水質汚濁等環境に関わる計測項目があれば記入

廃棄物の排出及び委託量の現状と計画

廃棄物の種類	委託量の実績 (令和4年度)	全委託量	計画(令和5年度)			
			優良認定処 理業者への 処理委託量	再生利用業 者への処理 委託量	認定熱回収 業者への処 理委託量	認定熱回収 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
コンクリート殻	2.2	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0
アスコン殻	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他がれき類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラス・陶磁器くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	3.3	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0
金属くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合(安定型のみ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
石綿含有品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設汚泥	29,644.6	7,500.0	0.0	7,500.0	0.0	0.0
紙くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設木くず	1.5	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0
繊維くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃石膏ボード	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合(管理型含む)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
石綿含有廃石膏ボード	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別管理産業廃棄物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃石綿等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃油	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	29,651.7	7,504.0	0.0	7,504.0	0.0	0.0

単位(t)